

1. 開会

2. 委嘱状又は任命書交付（任期：指定管理者が指定される日まで）

3. 委員の紹介

4. 委員長選出

委員の互選により、委員長を選出した。

5. 委員長挨拶

6. 委員長職務代理選出

委員の推薦により、委員長職務代理を選出した。

7. 指定管理者制度等の説明

下関市民会館の指定管理者の選定について、広く一般に公募することが適しないと認定し、非公募による単独指定とした旨の説明をした。

8. 審査基準の決定

採点は各委員100点満点とし、60点以上の採点をつけた委員が出席委員の過半数を超えていること、かつ平均点が60点以上を最低制限基準とした。

9. 申込内容、施設概要

下関市民会館の指定管理者の申込内容及び施設概要について説明をした。

10. プレゼンテーション・ヒアリング

公益財団法人下関市文化振興財団（以下「財団」という。）のプレゼンテーション終了後、各委員から財団へヒアリングを行った。

a 委員

「複数館を管理運営するメリットととして、職員が応援にはいることができる」と説明があったが、人件費等は按分しているのでしょうか」

財団

「按分していない。」

a 委員

「他市の事業団で不正経理の話がありましたが、貴財団では、不正経理につい

てどのような防止策を取られていますか。」

財団

「毎月 2 冊の通帳を管理職が確認し、印鑑も通帳とは別に管理している。」

b 委員

「当会館の収容人数に対して駐車場が不足していると思うが対応は考えていますか。また、子育て世代への設備の充実、障害者、外国籍の方の採用について今後の方針を教えてください。」

財団

「施設整備については市が担当であるので、利用者拡大の点から要望していきたい。現在は、周辺駐車場をご案内している。子育て世代については、授乳室や多目的トイレ、公演の際の託児サービスを行っている。障害者、外国籍の方の採用については、今後の課題である。」

c 委員

「収支計画 R 9 年度に 50 周年事業経費が計上されているが、どのような内容か。また、財源の想定は。」

財団

「現時点では決まっていないが、交響楽団を招致できればと考えている。財源一部は市からの補助金、寄付金などを想定している」

c 委員

「経費節減に業務の内製化をあげているが、対応できる職員の高齢化が進んでいる。若い職員の定着、資格取得や補助、研修について、どのようにお考えか。」

財団

「財団独自で資格手当や資格取得の補助などを考えていきたい。」

c 委員

「利用者にアンケートを実施していると説明があったが、どのような要望や、改善がなされたか事例を教えてください。」

財団

「利用者側、入館者側に対するアンケートをそれぞれ行っている。市には定期的に実績報告で報告している。アンケートの結果を基に今後も利用者の利便性の向上に努めてまいりたい。」

a 委員

「利用者数は 5 カ年で 5 % 増の目標とあったが、利用料金については、5 年間

同額だが、連動はしないのか。」

財団

「利用料金については指定管理料と連動するので、市と協議しながら決めていく。毎年、状況により市と協議していくことになる。」

1 1. 採点

1 2. 結果報告及び選定

5人の委員により採点した結果、500点満点中430点で平均86点の評価が得られ、委員の過半数が60点以上であったことにより、下関市民会館館の指定管理候補者に選定することが適当であると決定した。

1 3. 閉会